

編集後記

最近、改めて生成 AI の威力を実感した。病院や学会でいくつかの役を任されているため、会議の後には議事録の確認を求められることが多い。一通り目を通して修正がなければ参加者に配布されることになる。会議は録音されることが多く、事務担当者が会議後に文字起こしをしながら作成するわけだが、筆不精の私は横目で見ながら結構な労力だろうと察していた。事実、ある学会の事務担当者からの「大変です」との不満も聞いたことがある。ところが、昨年の秋頃から、ある委員会の議事録が目立ってページ数が増え、内容も細かく正確になっているのに気がついた。誤字も間違いもないので、「修正ありません」と返すわけである。きっと新しい担当者が張り切って書いているに違いないと私は早合点して、心から事務担当者の労をねぎらったところ、大笑いをされた。彼曰く、「昨年病院が生成 AI の実験的導入をしており、それが書いています。楽になりました。有難うございました」とのことであった。さらに、電子カルテにも生成 AI は導入されており、インフォームド・コンセント、入院・退院サマリーなど多くの文書を上手に作成し、使用した医師、看護師、事務方からは概ね好感が寄せられていたとのことである。われわれ医療者は文書作成やカルテ入力に膨大な時間を費やしてきた。それも含めて医療であることは間違いがないが、それでもそれ

らに費やす時間を短縮できればそれに越したことはない。働き方改革が叫ばれている昨今、医療者にとっても生成 AI は「救世主」と言うのは言い過ぎか？

さて、今回の特集は「変形性股関節症 update」をテーマとして、私が企画させていただいた。昨年 5 月に『変形性股関節症診療ガイドライン 2024 改訂第 3 版』が出版されたのを機に改めて変形性股関節症をテーマに特集を組んだわけである。詳しくは本文を読んでいただきたいが、編集後記として加えさせていただくと、わが国の変形性股関節症（股 OA）は長らく寛骨臼形成不全由来の関節症を股 OA として語ってきた。しかし、1970 年代の育児習慣の変化や高齢化によってその背景は変わりつつある。それを含めて最近の疫学や遺伝的要因について前半に紹介していただいた。また、ガイドラインでも言及した research question については治療における controversy として運動療法、borderline dysplasia、若年者の進行期股 OA を取り上げ、さらに深く解説していただいた。すべての稿において、造詣の深い先生方に最新の知見を解説いただいた力作である。是非ご一読いただき、読者の日常診療に役立てていただくことを期待する。最後にご執筆いただいた皆様に心より感謝を申し上げて稿を閉じる。

（中島康晴）

「整形・災害外科」第 68 巻 第 3 号（3 月号） 2025 年 3 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行） 定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 47,960 円（本体 43,600 円＋税 10%） 〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。